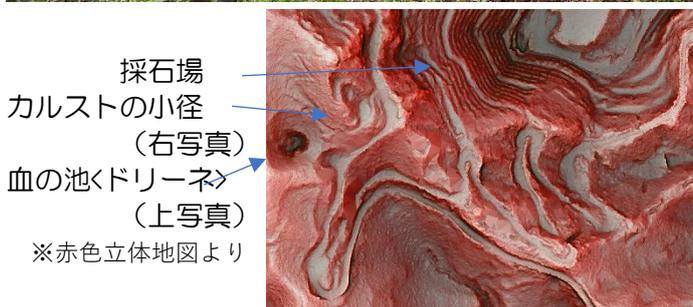
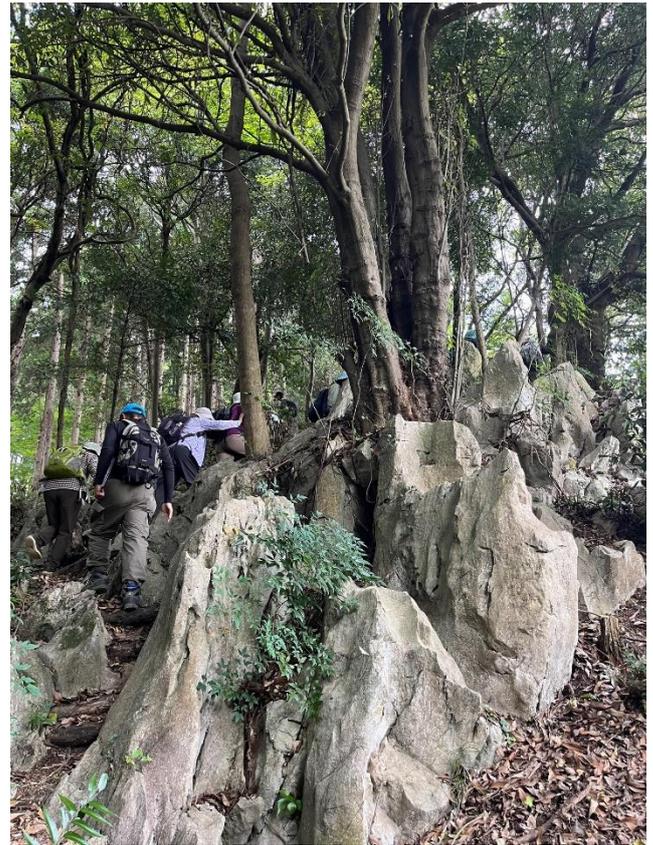


秋川流域 ジオの会通信

2024.3.23

VOL. 19

秋川流域のジオサイト⑱ 勝峰山のカルスト地形



採石場
カルストの小径
(右写真)
血の池<ドリーネ>
(上写真)
※赤色立体地図より

勝峰山のカルスト地形

勝峰山の石灰岩は、秋川流域で最も大きな石灰岩体です。古生代ペルム紀の石灰岩からなり、遠洋から運ばれてきたサンゴ礁が起源です。わずかにフズリナなどの化石が確認されています。この石灰岩は昭和4年に浅野セメントにより石灰石採石場として開発され、昭和55年まで操業されました。現在は、石灰石の利用は終了し、太平洋マテリアルによって建材製品を生産する工場になっています。

勝峰山林道終点付近では、小規模ながら、ドリーネ（血の池）やカルスト地形が見られます。山頂周辺の石灰岩地は、将門伝説などとあいまって、神秘的な姿をとどめています。

<目次>

秋川流域のジオサイト⑱ 勝峰山のカルスト地形 1
これまでの行事	(事務局) 2
2024年 第6回総会報告	(内山孝男) 2
地学講演会報告	(青谷知己) 2~3
秋川の石実物図鑑	(池田美智子) 3
会員リレーエッセイ・これからの行事	(松本晶子)(事務局) 4

これまでの行事

○事務局会

1月16日(火)、2月13日(火)、3月12日(火)

○全体会(学習会)

- ・12月23日(土)「秋川の川原の石チーム 調査研究発表」秋川の川原の石チーム
- ・1月27日(土)「三宅島2000年噴火と火山巡検報告」青谷知己さん(会員)
- ・2月28日(土) ジオの会 第6回定期総会

○一般講演会

- ・3月9日(土)午後 高橋直樹さん(千葉県立中央博物館) テーマ「石ころの魅力」
場所 五日市交流センター まほろばホール

○ジオガイドツアー

- ・1月26日(金)「平井川でタマネギ畑を見よう」参加15名 スタッフ8名
- ・2月24日(金)「平井川上流部の多彩な付加体」悪天候により中止

○研究チーム

3つの研究グループと輪読会が進められています。付加体研究会、化石研究会、上総層群研究チーム、輪読学習会「新版 絵でわかる日本列島の誕生」

○ジオガイド本編集委員会

編集会議 1月10日、1月25日、2月26日、ジオサイト・ツアー案内を書き進めています。
委員 青谷、池田、内山、大澤、鈴木、長岡、吉村

○「秋川の石図鑑」編集委員会 編集作業が終了しました 4月始め発行予定です。

秋川流域ジオの会第6回総会の報告

(内山孝男)

2月24日の全体会で第6回総会を行いました。この日時点の会員数は56名で、定足数29ののところ当日の出席者数32名、委任状13で総会は成立しました。議長に石井弘好さんを選出し各議案の審議に移りました。

1号議案2023年度活動報告、2号議案2023年度会計報告、3号議案2024年度活動方針、4号議案2024年度予算、5号議案2024年度役員ともに賛成多数により承認。ただし、活動方針の中の「ガイドツアーの開催」については、会員向け一般向けを分けて行うか合わせて一回とするかはチームごとに決め、という内容を反映した文章に書き替え、次回全体会で提示することになりました。また、「全体会は会員の率直な意見交換の場とする」について、「実際にはそうならないので、そのような場となるようにしていきたい」との発言もありました。

総会で承認された新役員は 会長＝青谷知己 副会長＝池田美智子・内山孝男(事務局長) 事務局＝安藤節子・鈴木肇・田野倉勝則・吉村成公 会計監査＝武智昭一・富士光男の各氏です。これからの2年間この体制で頑張っていきます。会員の皆様のご協力をお願いします。

地学講演会「石ころの魅力」

(青谷知己)

3月9日(土)、千葉県立中央博物館・上席研究員の高橋直樹先生をお迎えして、五日市交流センターまほろばホールにて講演会を実施しました。

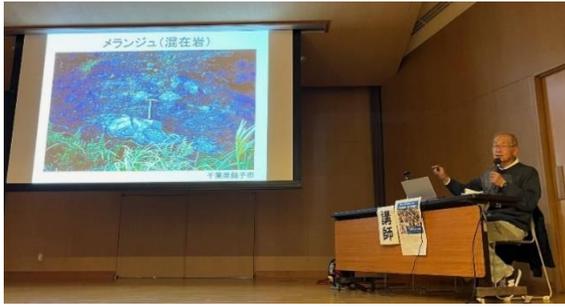
当日の参加者は70名(一般38名、会員32名)

前座として、ジオの会石ころチームで取り組んできた「秋川の川原の石」について、池田さんより報告を行いました。

その後、高橋直樹先生が登壇し、導入として「石ころ博士入門」が完成するまでのエピソードを話されました。その後、「石ころの魅力」についてのお話です。

①石の物としての魅力 石の美しさを多数の実物写真や偏光顕微鏡写真で紹介されました。

②石ころは大地のメッセンジャー すべての石に名前があり生い立ちがある。日本列島の地質に始まり五日市周辺の地質、付加体の形成、堆積岩のでき方、変成岩のでき方、蛇紋岩や黒瀬川帯の岩石、新第



三紀グリーンタフ地域の火成岩など、広範な岩石種について紹介いただきました。特に先生の主戦場である葉山一嶺岡帯の話は熱を帯びていたと思いました。

質疑も含めて時間が足りないくらい。その後の懇親会でも丁寧な対応や説明をいただき、先生の人柄がにじみ出る楽しいひと時でした。

秋川の石図鑑についても、いろいろなアドバイスをいただき、大変有意義な機会となりました。

参加者の感想から

- 偏光顕微鏡を使って様々な岩石の様子を解説していただき、興味がわきました。
- 子供のころ遊んだ秋川を思い出しました。
- 石ころが楽しい地学の窓のようになり、興味が広がった。ただのシロウトの石好きですが、気が付くといつも家中に石が集まってしまいます。「石は大地からのメッセンジャー」という今日の講演の中にあつた言葉に、惹かれて来た理由があつたのかと、納得しています。大きな歴史の中でささやかに生きている自分の「生」が、石ころたちと楽しく重なつた講演でした。
- はじめて理解できることが多く、たいへん有意義でした。石ころは大地の成り立ちを解くカギである。この意味がよくわかりました。
- わかりやすく、あつという間の2時間でした。初めて見る石もたくさんあつて興味をさらに持ちました。
- 身近な石ころに愛情をもって接すると同時に地球のエネルギーを感じる事ができました。



懇親会で高橋直樹先生を囲んで

秋川の石実物図鑑展示中

(池田美智子)

「秋川の石実物図鑑」(秋川川原の石チーム作成)が、戸倉しろやまテラス3階ジオ情報室に展示されています。「広報あきる野」3月1日版に紹介記事が載り、それを見て見学に来られる方や、先日実施したジオの会の講演会(高橋直樹氏「石ころの魅力」)に参加された方の来訪もあり、皆さんの関心が高まりつつあります。

始めは3月31日までの展示予定でしたが、より多くの皆さんに見ていただきたいとの思いから、5月のゴールデンウィーク明けまで展示期間を延ばしていただきました。

是非ジオ室に来てご覧ください。8カ所の川原で見つかる石ころの種類と、その川の流れがある場所の地質図を見て頂くと「石ころのふるさと」という言葉が心にすんと落ちてくると思います。何度も見て、触れているうちに、一つ一つの石に愛おしさを感じるようになります。



3月7日 展示中



1月11日展示作成中

会員リレーエッセイ

「石と私」

(松本晶子)

私は石を見るのが好きだ。ジオの会で小学校に行く機会があり、きっかけになった出来事を思い出した。私が小学校に入学した時の担任の先生は、新任の女の先生だった。新任の先生よりベテランの先生がよかったのに。親たちの評判は今一つだったが、私はやさしいその先生が好きだった。その先生が2年生の最後のお別れの時に、子供の手のひらに乗るくらいのサイズの石を、皆にひとつずつくれた。私がもらったのは、キラキラ光る銀色の石だった。こんなにきれいな石があるのかと、強く印象に残った。

青梅に住むようになり、近くの多摩川の川原の石が気になるようになった。そのころ野鳥に興味が出てきて、鳥の名前を覚え始めていた。探鳥会で教えてもらい、家で図鑑で確認する。日本野鳥の会の図鑑は、矢印で鳥を見るポイントが示されていてわかりやすい。石も図鑑を見たら名前がわかるのだろうか。図書館で何冊か岩石図鑑を借りてみたが、どうもピンとこない。しかも、同じ名前の岩石でもその成り立ちや産地により見た目がバラバラなので、図鑑を見ても見分けることは困難である、との記載がある本もある。詳しい人に聞いて覚えるのが一般的であると。

そんな時、ジオの会を教えてもらい、入会することにした。私にとってはジオ=石だったが、入会したらジオはもっと幅広いとわかった。だが私はやっぱり石の名前が知りたい。今回「秋川の石研究チーム」に参加して、たくさん石を見る機会があった。以前よりはだいぶわかるようになったと思う一方、肉眼で見ただけではわからないものも多いのだ、ということもよくわかった。それでも石を見るのは面白い。

今度は相模川など、多摩川や秋川では見ることのできない石がある川原に行ってみたいと思っている。



これからの行事

○全体会

- ・3月23日(土) 14時～ 五日市交流センター 2階会議室
学習会 「子どもたちに大地について何を伝えたいか」 中部喜和さん(会員)
- ・4月27日(土) 14時～ 五日市交流センター 2階会議室
学習会 「五日市町層群の部層名について」 内山孝男さん(会員)
- ・5月25日(土) 14時～ 五日市ファインプラザ 2階第一・第二研修室
学習会 「地質図の見方」 鈴木肇さん(会員)

○春のジオツアー

- ・4月19日(金) 会員向け、4月28日(日) 一般向け 「草花丘陵の成り立ちをさぐる」
- ・5月11日(土)、予備日5月19日(日) 「三頭山は火山だった!？」

○調査チームによる研究テーマに合わせた調査や室内実習は、随時行っていきます。また、他団体によるオンライン講演会などの情報は随時メールで配信します。

会員・会費

秋川流域ジオの会では、随時会員を募集しています。秋川流域の大地の豊かさと面白さを学び、伝える活動にぜひご参加ください。現在の会員数は56名です。

☆年会費 2,000円 (会計年度 1月～12月)

☆振込口座 西武信用金庫 五日市支店(024)

普通口座 1173684 秋川流域ジオの会 会計 田野倉勝則

秋川流域ジオの会通信 vol.19

2024年3月23日発行

発行 ; 秋川流域ジオの会 URL; <http://www.akigawavalleygeo.com>

発行人; 青谷知己 編集事務局; 吉村成公・青谷知己

連絡先; 〒190-0162 あきる野市三内86-3 内山孝男 tel 080-2198-6529